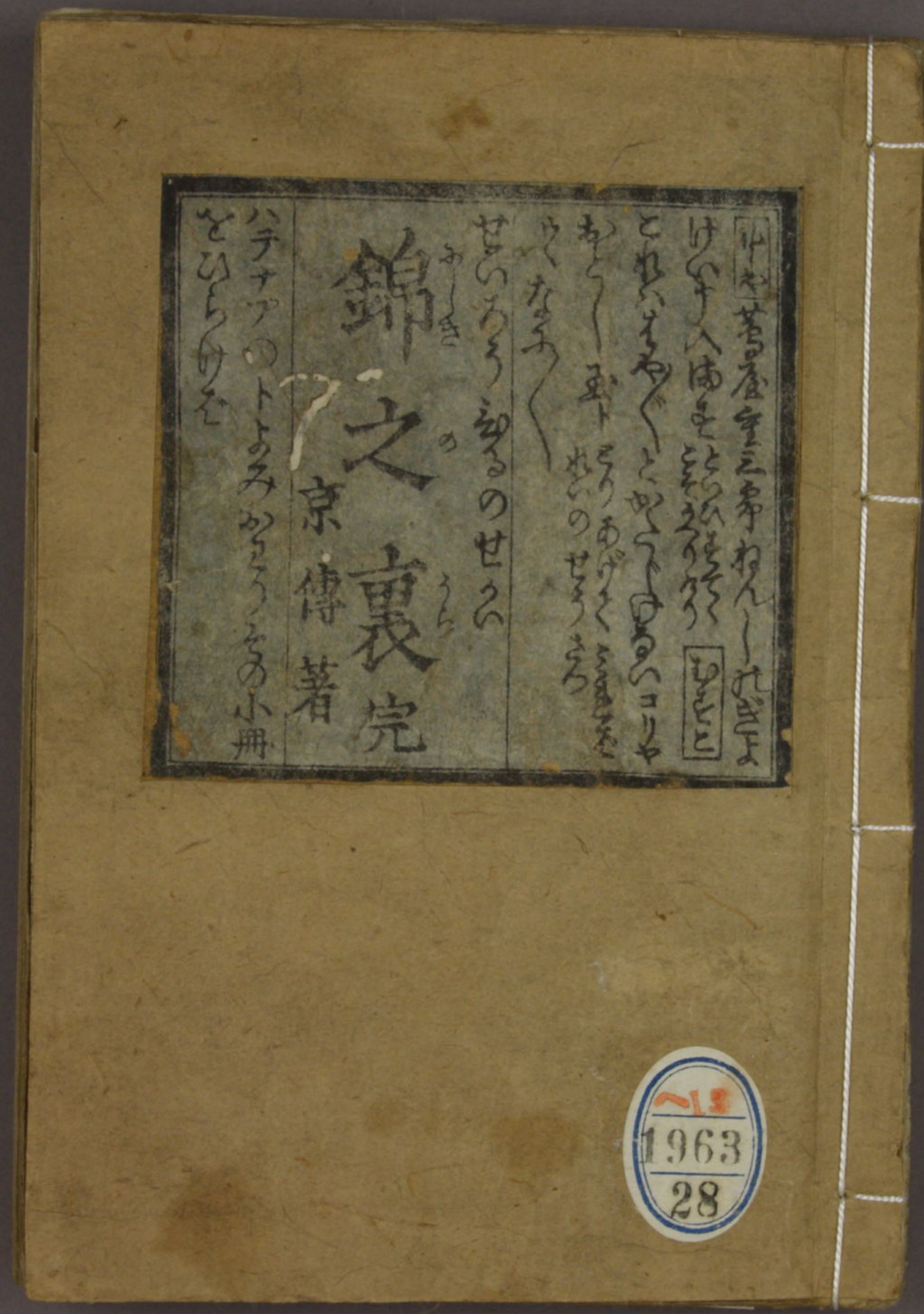

中ぬ 若屋宝三郎ねんしれぎよ
けいけ人はをとをとをとをとを ひとと
とれいそやぐとやをとをとをとを るへコリや
あとゝ 武トろりあげくをを せいのせうえを
うくなをゝ

せいろう記るのせうの

錦之裏完

京傳著

ハテナブのトよみかろうをの小冊
をひらけを

1963
28

宮内省圖書寮

ぜんらく樂（ひる）乃世界新きの
うらど裏面どよりや

一日書肆等唐丸来
ていたる例の小冊の書
ものあるやいなや

へ3
1963
28

年若そ回ぎまぐあはし
素癖か道
念る様〳〵安ぎ合み
ケ下ぐ執筆と
所ぐ無そ比い銭を

思案也蓋妄作の
表紙も年〳〵筆〳〵
穴相似て歳〳〵毎〳〵
新しかざれば一つ
ぐ様る桜の

のを取り、秋の景色の
いとゝ美しくして、
あんずるに、小冊、此奴を一ツ
新織あり、其価錦
乃裏に題而已

二


觀流瑠璃人入江戸
日
山東京傳撰
菊


三

僧門ニ至ル日

亭ニ午ノ之図

# 附言

宋玉ハ好色の賦を作りて色情を
戒め給ふ氏ハ五十四帖の艶言を述て
色欲を戒む是皆佛の譬喩方
便なり其ありさまハ屢妄乃者
述べたる淫蕩の作に似れ
ども必ず戒を示す喜怒哀樂
の人情を述て勸善懲惡乃

微意あり通く諭ばかり童子に戒るに餳を
以て喪を[illegible]るが
如し則ち餳は甜味諭すが如
き矣は仁義五常なり然れども小冊
子教訓の二字を冠し毋[illegible]
所以の式[illegible]
視人宜家也

青樓畫之世界錦之裏

山東京傳戯作

五更鳥がアリ〳〵〳〵
紙砧の音コト〳〵〳〵 晨鐘ボヲウン〳〵〳〵
夫神靈矢口渡道行の文句曰なるふてこそ
夜の明るを[illegible]
乃常[illegible]
珠匣硝子乃桃皿

きさめぐの手柄あるを昔うゝ詩歌連俳
浄瑠璃小唄浄瑠璃俗謡説法説経釈門施餓
鬼ぐなりけるを慶紀へ高さしめ給ふ仁百蓮
紀でうもれべ探芝居を見て出かきぬふ
いろゝあを唐の和歌万人口のもとくゝ稼
いのはくゝ今はいつも再度なれば
妓家と娼家あい見てしなくもまむものたを

爰昔後一条御宇摂州河遊郭神崎
の之廓吉田屋喜左衛門云有妓家
を建て二階の欄干色杯盤狼藉廊下
まで溢れ盤小杯葉玉業壺のうへ小茶碗を
の中さを居食めれ端壺乃ごゝ傾出
輪切魚乳棋の皮乃下小杉箸のわりこな
月小震へごとぐんもくいかるもきを有
家ごゝ物日浴室れこ方乃ごゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いろを旦ふよらうそくのあんどのぐんそくの図起ぶぐん
コレ見てうそくの血ぐ出るよぐかーさ ねぐと 春乃ものく
松の打でうつそれ紀といくーゆーさ 図ラヤ あぐぬ
ねくくよりそくぬ紙一にのんでうそくこぐしあぐれ
さくコレそくそくれさんりふあんぐぐさくちくちくさ
ものくきる 図 アイゆくよく 図 あくらぬ小夜のうの
あけてれ さぐそくぬまりでぬぐくーやくーとうぬくの
うそくのゆくなくうそくぐるの 図 やくて
ものとぐりわどうくれ おくーんおくのくぐり

ゆくと 図 ハぐぐるぬうとうくてさくくれてれ見くんーいくぬ天氣ぐ
あぐんくれくく 図 仏きくくうくくりまくも
のきのくくモウ大ふくくひとゆーさく 図 おくれ
ホニニ坂の内さんくあぐやくぐ泳ぐんくくくくく
図 アイ 紙くれぐひくまぐかぬくくくまり
きくくよの 図 ツリヤア ものくくーけのくあぐん
くくモシくすくくくくんくーく夜ぬさんの麻さ
なり紙 図 ホニニ ものくト こくくくをこれで安に女郎
図 かぐくぐくんのちくすぐと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

してあるげヤレス 図 ぬ〻しぼうさんかたそうそん
おごらうノウ うた きりくごのぼうさんかゆてき
りんとごらう 図 ごうりうまんせんうがう
さんぎ〻くきさーつさよ 図 うた ホニ れんく 茶やも
ふくうおごんをこんどうのまんとこづてきこれ
図 ゆんうふはもろいこ紙いろてノウ 図 マア 山町
とこあくやをィをごりてのサ 図 ゑうせさん 竹村
ちかくひをきりとゆをてくきこそうとうそ

きうえーよむごタさんをごうーさの 図 あの
子へ二町めはどゑくふんでこんーくりで
ゑ紙ゆーはくあるすんをょゆーいまこくし
とひうう紙なんーさちょんーこうるんー血ち
でんをこ うた うをくーごう神でごあやぶんるんを
ーこお打扇ゆ小こう紙いくて神んをこんをこ
いくてゆうきゆくいを勢よごをこたまこんで
ゆうをこうゆぎこうくくこくゆうん 図 ちち里 ゆだこう
ーいあるくごこアまごうゆるんーくごうちび

ト[illegible]様へ客人ぐらいこうら[illegible]ん
乃通りあとを[illegible]ゆでいぶーつあげみたらく
ワラフ おぞん次[illegible]
て[illegible]のぐらいのいろをしたこうもりの[illegible]
のあり今あさしこうかぐらふむらくおぞんつらく[illegible]
あへかぐら 下[illegible]
[illegible]布子のようなくあと
[illegible]
車井 つるドーク つる アイ 車
いこうろへまたぐらぐらぐらぐら吸付たあ。ぐりや つる
アイ [illegible] 車 エモべらぼう

らいたぐきへらら[illegible] 茶屋男 [illegible]
おいらん蛙[illegible]
[illegible]
中ふわらへ[illegible]
[illegible] 車 [illegible]
[illegible] 男 [illegible]
[illegible] 茶屋女 [illegible]
[illegible]
車 [illegible] 安

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かるさんをこそたてく居るまさアやうな者の 源七 もみ
大男でーられきん上りてれ申てゐしの 手だらつ きせれの
さんでさ づーてゐる さうなのや コリヤ おめくさんいく 縁でござ
アこなくと生妻でなくくッちゃアてんかず
ぎ長くされません 表 文助をんのさるかをれ
でいる 文 ハイ ひ生貝ん子ん女貝さノウてん
つアいて地舞ざ さうな いく角ぐござりゆと
源 だんなさん生海嵐もちろとおくんな
さりゆー さうな ひ海嵐ハ板堂てござり

まん 文 車とりらつと入さいせ 表 ゑぜ
魚ぞあく〳〵それくよるイノウ さうなや
ちけのいげ〳〵でござりゆもとてー やとくて
ざりません 吉 四ッ時 二ちい 文きり がさーさ
ちんそ〳〵〳〵めくあきか 四竹 ハむ〳〵されの中〳〵さ小
小徒氏きアこ〳〵〳〵ゆ年〳〵ゆ乃みくるゆ乃ゆるゆ乃ゆ
のこいつもとて〳〵さえ さ小徒とちいけあてまハけさ
おさてい〳〵ゆみもべくきあけくゆすぐふさーてあられ
うげのくとちゆておハこちそふさーてあられ
いてのこちハ ゆそう がいら すそよわ〳〵さくあさち
ゆ〳〵ちー年のまるもちゆ山ハ髄骨のとそあイまこ
ゆ〳〵ハちゆトてられ〳〵ゆ〳〵ゆ女ちうりうり 徒 おしの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そ秋ごろアノ頃あのくそれをきりくーるん
人きのやれば成いまそゆるそ成あるあ
あのびやそーてうアノ行りぐへいろて弟
ゆ成ごろくきやつくーやョららがあれさ
ごろ稼へョおつ人ざあんまと気成ごく
きろーやごろうんどろくなるめんどや
アア稼へ成ひとそゆゆ〇陽へゆくーれほあ更
なるの成のうみのくも成ようき
かごろ高成ごふかけくまりごーとのごそさて

ごろ

ごろ成ごくーん（ごくーん）
ごくーんごくーんごくーんごくーんごくーんごくーん
ごくーんごくーんごくーんごくーんごくーんごくーん
ごくーんごくーんごくーんごくーんごくーんごくーん

ねくとあんしゆつさ方はもの見そこらくらい
さまれとやもとくとらもとほんの図いりヤアぞふとも
ちんーやう〳〵と歌四ゆう〳〵るはつーぐ世ちうはちうう
ぐはちうはぐでんーと小ちあ
ちくあくこでんちうエヽレヘけ櫛をはいできて
へやはの中、寄り あぐ溝
おくんこうんーなどゆぞアのくおさのんヤイとよ
小ちあ かりこほうもーと飛ぐんこうゆよべいろおとこと
ぐんこうのかりおくまと ちりん 陳 指の溝ほぐてはんせん



ん 小ちあ あとんでんはゆと彼面と ◇ と
ひくぐつけれ ちん こまとさこぐちかこえおくん
かんーナてるぞ鬼〳〵ーんせうろぐーのなーこのん
小ちあ ちーんと浮ぞさ
ちん 浮ささきさんのさこ玉たーう屋ちりぐのくよ
小ちあ ホ イちんちーしをとほきをけ八まぐ山ちゃ
ぐけ金きんとるーべ乳決絵風集のかりうこ著とのまて
チラくよりくこだこ湖月集のりー出ーとり
とんぐこぐんのりー出ーとくくりこ命ーてくく 四 コレゆんのやおるぐ

ゝ箱の縫のところ引出シよ金ぐあうう
二尺おくいろまあ一枚ろうてきや縫へ用
だんをめ知れ出りかるぞよ図アイの引出へ
ひ長ゝ長ゝあのゝ長ゝ長ゝてゝ縫をあゝりせん
よ図ゝゝゝくゝゝゝあくゝョゝゝゆのべいゝとゝ
ゝゝゝ縫ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なんしーお針部屋もてきれんーよのー
ゆごごぞアトタの中部の人衆たのんで呼
ふつてくんなんしー中部ここの内しやうのふげうひと
だうり門ものやあてぐ後どうくく来てそこと
う相屋のこのひとりまいりて板衆一本と
と名をつゆもくてとすれとこるのうてんとうて
きやけのくまわる紙とたぐこもうくきや
夜毎さん笠楊枝をぐーるトのひうけう表やう
ドうおくろう絵の



うり 六図 と門 ぐきやうだんぐーだきうぐーだんん
ざうなどうりそうくれやうく 図 おおちぐうとうて
きて火だちくのでてとく 四図 でんぐーとしぐのうつ・のせ
まり手きやうりじと火ぐちくの 図 でうけまーー
かぐこてもりひうとなつけ〇むうふぐーきうん家のうれ上
ようりうきなト メでもぐうくの男てあることもまちん人の
ぐうんううべーもわ他のうてんん ぐ家 モレへぐーて
火八の火なきき火ぐちくへなぐーー してやちん
ーやうわくもーぐうろくあうやーくうてちりさけ
イをおいらん 板衆 めーつぐおだーりかすぐーて箱ひきうせかに
そうれぐうくもあめくんよーしーもう極人半ーぐ
なんーくうてれくもの胸ぐおうめくあて

氣狂ひ　なんでもいつちがすん
ア　やうれちがひおざんせんゆつぐ　ぜんやうまちが
さつく　おごりイをとめいつたきやくがわうの　ばいとの
ちやうちんさつかりちんさつかりいろくくうつと　ぬり　神とちやうろ
なぐしすまり　ゲのんでおつきやれのまぐはのれかけぎ
せうのうくうろ　ちやうのうくうろ　ヨハアつりく　そうーイをのごョ
ちやうとかつき　ヨハ　ヨハ　ままくーハ月水出ゲかぐてなりイせんモしへ　今

かんつうせうがうるもんざ げび うんかさうか
しゝうけ 半 人の気もちゝ行くぐ
ちやまちよなんぎ ちやてもまさや
きどり道ゝあいたものとゝ行くれ
ぐみわげ紙してやらゝ ふ 図 げまう
きゝのうでびんと
なでつりうぎゝ ちゝむしゝ ふ 半 何
むゝがつるあむのむゝがつがまてあた
ちやう げび ちやうこゝ 佐助屋



へいうで殺さうせんす 図 げびりさんちうじ
紙とりつくまてくん敷をしてたんぢの
かゝのものをちゝと摩てくんちゝ 半 ホレニ
ちゝとゝぐれるせんゝ賣素居と女郎屋
ちんさゝきん餐ま肴ぐちゝ行くとちんこう
ぐうちん 図 きゝう 右どん男はをてなうう
ちやうこゝ ちやうのちに魚のよ
ぎ紙一つしてぐせんぢして里ちへいく

ものごはのうるもうせそくぶせん浩冊坊の
三百九拾六うてすのりしてん図太うさだれを
めてのはしやうゆ図うちや拾弟さんの
とけん淋病の薬はこせんてやりてんぶりふを
はふあんせんのこれ紙でもとくまりめてこ
予さうおいくんよりひ紙はれ製ふすり薬いぶこと
あまりたるけれなるふまり○黄蓮。甘草。丁子
○山梔子。隈篠。燈心。梅干黒焼。阿膠。松
子。女陰毛黒焼以上十味等分二分煎用ユ



三をどりげ大うしのすり図そうちやうとうしろのう
図いうそおざんすとろ図うちもまりいちをイ
おうこおりそまのうくのあきんどさんどさうくるん
をうさまりぐのよびこをまこうぎく
きんあやけり▲洗麩粉く▲ひてうまくく
▲汁ぶく図モシへあもとうぶ絹くうき色
ようう十二日でおざんーやうヤたもさうが
きこよ紙おさんんぐらうじひーちょうと
よううをうそうざんと図とれとこそ

ふくやもとの方へゆきまして
てありてのもんしへうつしてうくめうあまさより
中即 味たのもたのもうぶけ紙ちつと
あつたかすりつてもらうはしをうり 図 いろ了
りどやのごよ 中 一ト手ごだりもつたうき
ものー 図 ウ今しうきしておうう ト長亜 中居
げび門さんろちは屋数ふ皿ご一ウまて
おりやーしやうこんうをく 図 おさりいせん
中居 おりやごさんめんようそんるまに紙いうまう



けちうもろちよ和おさごごりやーさい
ちらごあごりうごうくなちやア
めくくでごりうやもとる番しにトかくゆ 図 けん
ちうちうちう極へメこごうちうはふ
ちうきす本 もとうけんこうはのちはの
ありごうおとてもちうもごたもちう 図 ふくり 図 うい
コレあのくのけんごやへうくまごうの番絹しめ
下モの本番屋へいうて血しあと銀箔紙えうて
きやそーてかんりれお計紛やで紙をちつく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゑんぎだうのおざんを
紙でのむ　四　ゑんぎやうとやれとこだうくきそく
トくんそくとつたやと「くんそくの中まへくぐろのつど
きがハぶんやうぐあつくくまん中れ参ふのたがたがふさ
らとがあり「ワぐくくくこと紙のくぐふきぐくゆったら
あり」まんど出ふをでうけくほりてあり五くだ
のつそくくたしのくわぐひろのくむこくそくやつも
りてあるもゆひまるゆひまるゆ園六分へ
ゆん　四　いてくだよゆんあくくくハ図ゆくり出行のまよ
ちゃんがりくさあり小ふかまぶんくげめてりのあんど
妾あてかの枝ぐくくく

ざいしきの手仕あけ人形の花ゐてきれのようにいく
ぬひもくハひどんまものぞこに色うついとびいろのむぎわら丈
ほおかぶりしゆくといろいとまもしまがぬひこびとやどんまを
ひちろ多んのくくとつけしちごれを手ろと多ろんはむうくく
ゆたのやとるりれ
ちどんとうとくくこれハどんなことけか
朔人さまもそも七十ゆとくくこうもりんこ
うきさと
浜屋さんの二ゆよ居ほくけゞあややれくか
あぐりイもヨ
あるもぐさかいくくうまあるくの
不見ふまくくもとかしくてくくしゆ二ゆくさて
おくんまんしくいろてきやモレあるのんやこと
ゆく
きぐりひりさりイもあ
かりくくしゆくとゆ

とりて赤の
ゆきちのでいぐうゆ中のうりあい
んどん板と手仕くうりしてあるのかんだん板といかそ
如年のうりさうぐどゆかりふひくてきくれりれのくくうり
二ゆくの下ハ三ゆくゆ二朱ハ二ゆくこれも
くくゆゆ
ゆきたりんうきくんゆぐいおあるぐくふれ
ざりイくくさ
さけゆゆ何う赤のゆ赤ん出番う
屋乃きゆく赤でおぐりイもと
とくくゆ赤むゆくくゆくかくてくぶ袋の

風ぐ人ぐうぐうとうとうさく客人ちまりく
みゆうつまくいきれ図いうてはゆうりーしゆうト
ちんとはいらーて表図ぐうーつはを足とうはゆく戸縁も項見へひしぐ
でくぶつはさノウ安房たあまうサだんくようくなるとと
ま次扱蓙不のけーしきんアーをを井戸の車のまうまもとんぞう
のまれさまを米成つく青かーきーかーいろい大せはもむん
だんとーりはゆうくもうめーしとくひ大へとのんくまるう
ふうそでちんぐーうあまで茶のきーじそれれうーーかー
ぶうあり意ーうい意のものの義成かちーーかーへゆう
酒ぐうへ口成ちうありいうりざけのゆうひうあの成つー
ぬき湯ちまいきりのゆうれぐーーー門代へおそびきて



男酒好三河鴻の湯へお出なとうとう表仕
百めーーあーさ酒れて以久表ゆうび茶屋のて
あ成よんで一妓点成ーーーーー寒出りーの
白鶴めとうとそーーとうの匂とちーどう
ぐうーれ酒ウ、匂ぐーりげあり出ーーーう
アーうーーやーーやうとれーの更ぐーうきでおのりー
あてとくーーーう新女年の
あや弱表ヲ、ぐーーうーさーぐーのうちりーーを
いうのあやとうくーーんでぐーりゆーーー

[図] ソリヤアこまつさんくくしてく
んざのう [図] ハイ [図] ミア 飯でもくろてい
つせん（おくくのくれんの内へ [図] 天台乃むし 南無薩婆婆哩哆伽
多鑄盧抵帝唵三摩羅三摩羅吽 [図] あの
あやそこへ あんぜろ（トこのあとへ [図] わき 男竹
[図] ちまつ ふいしろイ、ふイ、てまつアふぢイ げんウ
ぢアチョコチョ [図] 江口クセ（ふてこうこうこうこう
こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、
拾とうぐ、いつもこうれまいかぢアろ



らん [図] アゝうれせん（トあるて [図] 月花さんろ
かぢろぐぢりはせんぢくぢそぢりあしらまろ
でらぢさりゆ〜 [図] 女房 てのらうまるりかうを
さまふぢりしさの [図] ゆうと [図] 紀ろでえ〜きさと [図] 安
こうさのあろさまんゆ〜ふかぢろいあるめへうの
[図] ゆり きうふむおさりぢのぢりきせん [図] ぢふ
でりつまんろまふあふまりとんとこしのこん [図] ろぢ 賦へ場や
ノイ人ウリ少くこ みを色の糸とゆうしぢりろ

てきそうせんのうらひろ[illegible]
沢道やりく　カツラ　アイく　ヤリ　コレヨウ　楓屋へろ
てのその二束と百のたぐと紙紙でたく
んぐ[illegible]でいくくりくりてきやえ
ぐ神樂をそていあんよ[illegible]三あぐ[illegible]のとと
[illegible]　[illegible]　[illegible]　ゆよ屋の三とせん書と
だもとノウぐどうこうれんろてこ元元
げてぐ[illegible]ぬいよ[illegible]　[illegible]　[illegible]



りふい内のちゆびうコりゆうてとぐに
けつこイしさよヨせうれく　[illegible]　[illegible]
ゲりそうやアよろうされく　夕　今まぐあ
戸屋の繁ふありイしさよ　四　ひとあと
モシぐんこんろうあ多くうろうん
さとうきうふ高く乃おろうさ新で
ホン男人とんりておやとこうぐん一　夕
さうしてもようぐんーやうれく　四

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くーがさぐでおざんとかんめんーておくん
うんーへおくれけるきりぐと 図 是勝れ
ーーぶいふうのぐあまを極く世の中は女
郎買金の沢山あるのれうちゝ多節はた
実ふあるーーまてるうーいの為ーうんさ西瓜
見はんぐくるるがまるーーー

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いっかくしゅうしゅのしるかたち
ふるまひとつとマア 右近 右近はつとうれしく身
をどり狂ひどちらも忘てー 夕 それをよそ
ちらんふかるすーくうるわしんを 陪 ハテさてさて人世
うへどのゆゑにて 京ふく 身をほくーてもあらん
ちらでもあん 夕 そうやほんでおさんとうえん 陪
こんどさうへゲ 右近 たくーのくるのまかるるまを
ちらと かるーや 紺のぬれもうそすれ「かれ

ところへゆりあれおくやうをとのうこれ
ちとでゆうとあれうけるゆ屏風引おけ
頃日うちはやしにおりうさぶ々さ花
ちらと見所ゆてとのくお戸棚のうち
こびけさ新ぐ氣ふつけぶあんあたど
をけちぐーるうかわとぬうつけゆ
なんで役俳ゲーろものでゆ世をとう内侍
へゆんぐんおさんゆゆとそれけれかゆや

ぶ男め紙引ぎ出しぶよんこのこと
ぶらくと閉つあるぶ者ひ種もくこと
かけ事といぎりてぶーの雨あるる社
むぐんやか伊たろつぐなまのよふふり
うれ夕務なるぐもろとふ中とぐそ
く弟と母ーまに伊たろつぐ月ととろひ
見やむぐーいぐふぐんぶんぶ流まさ
ぶんぶ男伊たろつぐんよぐいるこの人

さんと踊なるぐまんかりくかりさんへ
ぶらろーて まんせきーぶるる
見ろとそびるあるの猫巻のこと
ろり頭ふ紙かるれ中ふあん
ーとーぐあ見夕務ろん大事ぶん
代物あくよけるせそるのことのだ
ろるるふ大勢ぶより伊たんらぶ
さけんぐ引出をかれあるひ

都にとゝのへ[illegible]ふきん[illegible]
[illegible]ーやうがつさくしゃん京都乃出[illegible]
[illegible]番以成仕る[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]
出大臣[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]ーこ[illegible]

[illegible]の[illegible]二ツ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

とたづけんと今日ワざとみぼぐもとーさん
わづ茶屋よやとふくあうへ屋てふかのく
かしてんるれわとえんこいみはるるもれる
ゐ身とものび屏風のうちのむつまーく
ときてとづけみぎりどのくまーとれとこね
いさうへ今日中ゆてんを吉屋ちたつか
ゐをひ身うけれ侍衆あけやさんをまゑ
金へ則てふとくふ中よりさいゐをとりゆ



伊丸屋つぐほふとこうあるく中をこ
む絡ゐ紬布はーぐるーはいのさひふ
ぐけ耳衆そうへーみ百ゐ金ゐそへこれよ
一ツ毎ありつぶとと和ーきーれば何くをの
俵ゐてふるとりゆたーきこへ今日より
勘定ゐーゆりのうとーいたーこれ
親のもふくかーどけ毎あつがーと伊
たこつゐぎうもちーゐふ衆あく

せくふ あづむ 中の引乃 七ツ時 前

路用將斜

是ようを綿帽の表くくんだ夜の景
色乃ようれやうら今まで久くあるを
来りの小冊でゝらうゝ

後叙

夫熟大門視バ。實ゝ
兎貫ゞ句乃如く。髑骨
孔ゝ成粉ゝ。茫然
郭の喜怒哀樂。迷ふ

眼中西旅を出し。
悟だ臭中臭氣紙
ぐるぐる迷つて怪深も。
有漏路より。無漏路
へ送る。茶屋の提燈。

人間ナリレ五十
間道。一切乃宿坐ヲ
乃田んさしやい
まーまー。示人同乃
浦世利八宿乃一軒

嵗寛政三年辛亥
春正月食後雜書
之日　京傳自跋